

2023年度 事業報告書

一般社団法人小平市国際交流協会

事業報告

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から2類相当から5類感染症に移行し、市内在住の外国人は、コロナ以前より増加し、5,772人（2024年1月1日現在）と今までの最高となりました。KIFAでは、その影響からか一年間の日本語会話教室の新規に希望する学習者が93人と予想を上回る多くの方が、申込に來られました。

2023年度の事業計画に掲げた主な事業として、

- (1)日本語会話教室(おとな)では、年度の当初から学習者が増加しましたが、その後は通減しており、現在学習している方は、例年とほぼ同じです。日本語を学び始めても来なくなる・来れなくなる？学習者が依然として多い状況です。一方では、日本語学習終了後の茶話会がどの教室でも開催され、クイズ、合唱、ショートスピーチを通して指導者と学習者間の交流が図られています。
- (2)KIFAのつどいの開催は、当初案として昨年度と同じ内容を想定しましたが、実施しない選択肢も含めて、KIFA連絡会で協議し、実施しないことになりました。
- (3)外国籍市民へのコミュニケーション環境の充実では、外国人からの要望が高い保育園等からの通訳派遣が増加しました。課題として少数言語の通訳が少ないことから、都内のNPOにつながりました。

今年度目指すべき方針とした外国人のボランティア活動への参加やボランティアと顔見知りになることについては、各グループが創意ある取り組みの実施により、着実に推進されたと実感した年でした。一例では、生活情報提供グループでは、外国人を含む30人以上が在籍しており、5つのチームが主体的な活動をしています。

KIFAは、引き続きボランティア会員による主体的な活動をもとに、日本人・外国人が互いに連携し、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

会員の状況(2023年4月1日～2024年3月31日まで)

普通会員	学生	25人	賛助会費	個人※	268口
	個人	106人		団体	12口
	団体	0口			

※（普通会員個人と重複有）

1. 多文化共生に関する事業

(1) 日本語会話教室

①日本語会話教室(おとな) <担当(日本語会話教室グループ)>

②日本語会話教室(保育) <(担当:保育グループ)>

【内容】外国人を対象に月・土曜日の午前及び金曜日の夜間、ボランティアによる日本語教室を設置する。生活会話を主とするが、ボランティアの体制が可能な限り要望に応じていく。 ※月・土曜日は学習者の子どもの保育を行う

③日本語会話教室金曜日クラス(つなひろ こだいらクラス)

【内容】日本語会話学習の初心者を対象として、生活のための日本語が学べる日本語学習サイト『つながるひろがる日本語』(文化庁)を使用したクラス。

生活の場面で使う日本語の学習に特化した内容と今年度から「ながい かいわ」のクラスを追加。

	月曜日(午前)コース 36回			土曜日(午前)コース 36回		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	19.6人	20.8	19.9人	21.6人	18.3人	17.0人
新規申込のための見学者	11人	13人	7人	20人	9人	4人
指導者	8人	8人	8人	7人	7人	7人
保育子ども	3人	4人	1人	7人	7人	6人
保育ボランティア※	17人	22人	20人	17人	22人	20人
茶話会の開催	4回	4回	3回	2回	2回	1回

※月曜日・土曜日共通

	金曜日(夜)コース 35回			金曜日(つなひろ こだいらクラス)		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	8.4人	12.2人	9.6人	7.3人	5.4人	3.2人
新規申込のための見学者	15人	10人	4人			
指導者	5人	7人	6人	2人	3人	3人
茶話会の開催	1回	1回	1回			

④JLPT 直前対策講座(春・秋開催) <担当(日本語会話教室グループ)>

【内容】日本語学習者の日本語能力試験(JLPT)受験を支援するため、N2~N4の直前対策講座。10月からの変更点として、12/3のJLPTを受験しない学習者も対象とし、模擬試験とその解説、直前の集中講座を行った。

期間・回数	春・6回	秋・5回
受講者	2人	6人
指導者	3人	4人

⑤保育ボランティアと保護者との交流会 <担当(保育ボランティアグループ)>

【内容】日本語会話教室月曜日クラスと土曜日クラスのお茶の時間に保育ボランティアが一緒に参加し、外国人保護者（主に日本語会話教室学習者）と交流をもった。

日時は、10月21日（土）、10月30日（月）の午前11時30分～12時

場所は、学園西町地域センターの3階ロビー

(2) こども日本語・学習支援

①こども日本語・学習支援 <担当(こども日本語・学習支援グループ)>

【内容】外国につながる児童・生徒を対象に平日の放課後、ボランティアが初級日本語を指導する。また、日本語の学習と併行して学校の勉強の補習行う。

こども日本語・学習支援での様々な取り組み

※日本語ゲーム会の実施 令和5年7月19日（水）午後5時～5時40分

東京学芸大学の日本語教育に関する授業履修学生による企画（授業の一環）

※中学生の日本語短文指導

漢字や作文が苦手傾向にあることから中学生を対象に教室を10分間延長してミニ講座を実施している。

※保護者アンケートの実施

曜日・時間	水曜日 16:10～17:40（途中で10分休憩）
回数	1学期 14回、2学期 16回、3学期 10回、夏休み 4回 延べ44回
登録学習者数	27名（小1～中学3年）※平均出席者15名程度
出身（ルーツ国）別	中国 15名、フィリピン 3名、ナイジェリア 1名、イラン 1名 タイ 1名、ベトナム 2名、ネパール 2名、アメリカ1名、台湾 1名
学年別	1年生 2名、2年生 1名、3年生 1名、4年生 3名、5年生 1名、6年生 3名 中学1年 6名、中学2年 3名、中学3年 5名
登録ボランティア数	34名
「にじいろひろば」	No.6 7月15日発行 No.7 12月15日発行 No.8 3月15日発行
その他	(1) 東京学芸大学留学生センターとの連携 2020年度より、日本語教育専攻の大学院生が授業のフィールドワークとしてこども日本語ボランティアに参加。今年度は、9月にKIFAでボランティア説明会を実施し、4名がボランティア登録した。



②外国から来た親子のための小学校準備教室<担当(こども日本語・学習支援グループ)>

【内容】小学校入学前の外国ルーツの子どもが、小学校入学前に必要な日本語の読み書きや、日本の小学校での習慣などを学ぶ。あわせて、母語の大切さについても保護者に伝える。

- 期間・回数 令和6年2月3日、10日、17日、24日の土曜日 全4回
- 参加者 4組

③保護者会

<担当(こども日本語・学習支援グループ)>

【内容】日本での暮らしに必要な情報として「在留資格」・「高校受験制度」について説明する。在留資格については、家族滞在ビザで入国している子は何れ他のビザ切り替える必要があり、就業制限のない定住者などの在留資格に変更するには、日本の高校を卒業していることが条件であることや、高校受験については、一般的な制度に加え在京外国人枠についても説明する。

- 日時は、令和6年1月31日(水)午後6時～
- 対象者は、こども日本語・学習支援に来ている児童・保護者/参加者 4組
- 通訳は、中国語の通訳ボランティアが参加し、進行もやさしい日本語で行う。

(3)第9回小平市日本語発表会 担当(市、日本語会話教室グループ)

【事業目的】市内のボランティア活動による日本語教室の学習成果を発表する場を設定し、小平市における多文化共生の促進を図る。学習者は、日頃の学習の成果を発表することで、学習意欲の向上を図り、指導者は、日頃の指導の成果を確認することで、指導の改善に役立てる。

- 協力 市内の日本語支援ボランティア団体(6団体)及び小平市国際交流協会日本語会話教室
- 発表内容 日本に住んでいて感じたことや体験したことを日本語で発表する。
- 時期・会場 12月10日(日)午後1時30分～ 中央公民館ホール
- 準備会議 7月7日 市役所会議室、10月27日 学園西町地域センター 会議室で開催する。市内の地域日本語教室の代表者と活動状況等を共有し、学習者の増加が課題と認識した。
- 発表者(出身地) 7名 中国、フィリピン、フランス、ベトナム KIFAから4人が登壇
- 来場者 約90名

(4) 翻訳・通訳事業

<担当(翻訳・通訳チーム)>

- 他事業グループが主催する事業の広報チラシなどの翻訳協力・通訳協力
- 行政機関からの通訳依頼への派遣
- 行政機関からの文書翻訳依頼への対応
- 「やさしい日本語」担当をサブグループに位置付け、勉強会と文書のリライト発行に取り組みました。
- 定例会 (2 か月毎) 5月13日(土)、7月8日(土) 9月9日(土)、11月4日(土)
1月13日(土)、3月8日(土)

事項	内容	
翻訳	・チラシ (1) 「自治会に入りませんか」(発注元) 市民協働・男女参画推進課 資料 (2) 外国人親子のための小学校入学の相談会 (発注元) 生活情報提供チーム 資料	
「通訳サービスの案内」チラシ作製	通訳サービスのご案内 チラシを作成し、KIFA 登録外国人に配付中	
派遣通訳	【活動場所】 ・市役所担当課 4件 ・保育園 4件 ・小学校 1件 ・中学校 3件	・福祉・医療施設 2件 ・自宅(同行) 2件 ・KIFA(申請書記入支援) 1件 ・弁護士会館 1件 【合計】 18件
外国人のためのリレー専門家相談会への派遣	開催 9月30日(土) 主催 関東弁護士会連合会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会 派遣 KIFA から 3名(中国語、スペイン語、英語)派遣	
コミュニティ通訳とは?※ 【ボランティア勉強会の開催】	開催 11月18日(土) 午後1時30分~3時30分 講師 東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授 内容 コミュニティ通訳とは/コミュニティ通訳の心構え 講師派遣 一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー派遣制度を活用	
やさしい日本語勉強会	グループ立ち上げ 6月10日(土) 勉強会開催 7月22日(土)、9月16日(土) 10月14日(土)、12月2日(土) 3月9日(土) 日本語会話教室のチラシをやさしい日本語に翻訳する。	

※コミュニティ通訳は「言語的マイノリティを通訳・翻訳面から支援することによって、ホスト社会につなげる橋渡し役」とされており、活動領域は相談、司法、行政、教育、医療など多岐に亘る。

コミュニティ通訳は、一地域住民としての外国人が暮らしのなかで抱えるさまざまな問題を解決するにあたり、

各領域の専門家とともにその支援にあたる、異なる言語と言語、文化と文化をつなぐ専門職として位置付けられる。(東京外国語大学ホームページ研究者紹介より)

(5) 生活情報提供

<担当(生活情報提供チーム)>

【目的】 在住外国人の抱える課題を探り、必要としている生活情報の提供を行うことにより、在住外国人の日常生活の利便性を図る。

【内容】

- 小学校入学に関する説明会および個別相談会を実施し、外国人保護者への継続的なサポートを行う。
- 在住外国人のニーズの収集および居場所づくりのため、ボランティアと在住外国人の懇談の場を提供する(多文化カフェ)。
- 有志メンバーにより外国人向けの SNS を運用(インスタグラム、フェイスブック、旧ツイッター)。イベント、生活、お店、日本文化の4分野の情報を定期的に発信。
- 市民に KIFA を周知するため、こだいら市民まつりの参加

日 時	対応言語	参加人数	備考
多文化カフェ① 5月21日(日)	やさしい日本語・英語・ 中国語・ベトナム語	9名	余興:風呂敷で包んでみよう
多文化カフェ② 7月9日(日)	やさしい日本語・英語	7名	余興:ゴミ分別クイズ
多文化カフェ③ 9月10日(日)	オープニングの説明は、 英語・中国語を交えた3 か国語で行った。	22名	余興:けん玉、折り紙、 割りばし鉄砲、風呂敷包み 参加者から1名 ボランティア に登録した。
外国人のための小学校入学の相談会 10月7日(土)	英語通訳	1名	市からの「就学時健康診断」 の知らせに同封される健康診 断問診票の書き方支援
多文化カフェ④ 11月26日(日)	司会は、やさしい日本 語・中国語・英語	11名	余興 けん玉、ごみの捨て方
多文化カフェ⑤ 1月21日(日)	司会は、やさしい日本 語・中国語・英語	5名	ミニテーマ「日本の正月」の 紹介
小学校入学相談会 3月2日(土)	中国語で通訳	1組	
多文化カフェ⑥ 3月10日(日)	司会は、やさしい日本 語・中国語・英語	13名	ミニテーマ「病院にかかるこ と」

○小平市民まつりに出店 <担当(生活情報提供チーム)>


- ① 日 時 10月15日(日)



(6) 災害時対応チーム

<担当(災害時対応チーム)>

【目的】 災害時外国人支援センターの見直し、運営訓練及び外国人への啓発を目的とした活動を行う。

事項	日時・事業名
災害時翻訳シミュレーション訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月19日「東京都主催 翻訳訓練」の参加 参加者 英語 2名、やさしい日本語 2名 ・ 8月26日「東京都主催 翻訳フィードバック研修」参加者 英語 3名、やさしい日本語 1名
立川防災館ツアー 	日 時 11月23日 (木・祝) 場 所 立川防災館 参加者 9名参加 中国、台湾、ベトナム、アルメニア
災害時外国人支援 避難所における外国人被災者支援 研修 (主催 つながり創生財団)	日 時 12月8日 (金) 場 所 東京体育館 参加者 事務局含めて3名 内 容 【講義】 災害対応・避難所運営について 【講義】 外国人被災者が抱える課題と支援 【ロールプレイ】 避難所巡回

<韓国の多文化家族支援センターについての紹介>

多文化家族 (外国人家族) の安定した定着と家族の暮らしをサポートするための総合サービスを提供している。2022年度には、228か所が設置されている。(韓国の自治体数は226)

- 韓国語教育 レベル別の正規韓国語教育 (1～4段階 各100時間) 費用 無料
- 通訳・翻訳
- 相談、家族、性的平等、人権、広報及び支援の連携などのプログラム
- 訪問教育サービス
- 多文化家族の子どもを対象に言語発達教室

大項目	件数	小項目
通訳紹介	6	転居・住民票(1件)、病院退院手続き(1件)、進学相談(1件)、 迷子(1件)、施設退所手続き(1件)、病院指導(1件)
生活相談	4	幼稚園(1件)、頼れる友人(2件)、日本語(1件)
家族間相談	2	離婚(1件)、親子関係(1件)
手続き	3	引っ越し(1件)、手話サークル(1件)、保育園入園手続き(1)
合計	15	

II 国際交流に関する事業

(1) KIFA のつどい KIFA Friendship day<全ボランティアグループ、担当(事務局)>
令和5年度「2023KIFA のつどい」は、中止しました。

(2) ホームビジット 今年度から再開 <担当(事務局)>

【内容】 参加希望の外国人(ゲスト)毎に、ホストをマッチングして、訪問家庭を決定する。受け入れ家庭がゲストの希望をヒアリングして、半日程度の家庭訪問を実施する。

【ホスト】 普通会员と学生会員(どちらもボランティア会員)および理事から募集

- 春季: 5組実施 5月にISDAK宛てにメーリングリストでゲストの募集
- 秋季: ホストが集まらず中止

(3) スポーツ交流の促進 こだいら市民駅伝大会 令和6年2月4日(日) 参加
担当(交流イベントグループ・事務局)

【目的】 既存のスポーツイベントに外国人の参加を図り、スポーツを通じた交流を促進し、KIFAの活動をPRする。

- 参加者 3チーム参加 男子2チーム、女子1チーム(応援ありがとうございます)



(4) 交流イベント <担当(交流イベントグループ・事務局)>

- 高尾山ハイキングを企画(6月12日、参加申込者6名)、雨天のため中止

(5) 忘年会

＜担当(交流イベントグループ)＞

【目的】 KIFA ボランティア同士の交流を深めるための懇親会

- 日 時 12月10日(日) 午後4時～
- 場 所 学園西町地域センター 2階 第一娯楽室
- 対 象 KIFA ボランティア・ボランティアに興味ある方
- 参加者 22名 スタッフ7名 合計29名
- 持ち物 ご自分の飲み物と食べ物(アルコール可)



Ⅲ 国際理解に関する事業

(1) 国際こどもクラブ【実施済】

＜担当(国際理解講座グループ)＞

期間	受講料	受講者	講師	ボランティア
6月17日～7月15日 毎土曜日 全5回	5,000円	10人	・英会話講座 アメリカ出身 ・多文化理解講座(出身国) アメリカ、ベトナム アルメニア、中国、フランス	のべ 15人

(2) 英会話教室

＜担当(事務局)＞

【目的】 ネイティブの講師により、英会話力の向上を図る。語学力に磨きをかけることによって、協会プログラムやボランティア活動への参加を図る。

【内容】 初級、初中級、中級、中上級、のレベル別クラスを10クラス設置した。

※夜間中級クラスは受講生不足のため、授業料値下げキャンペーンを実施

(3) 外国語会話教室(スペイン語)

＜担当(事務局)＞

【内容】 外国人講師による初・中級クラス

外国語会話教室(フランス語)

【内容】 外国人講師による初級クラス

(4) 多文化理解講座 in English

＜担当(国際理解講座グループ)＞

【内容】 留学生等の講師による多文化理解講座を英語で行う。

10月14日(土) アルメニア

10月21日(土) バングラデシュ

10月28日(土) ミャンマー

● 受講料 会員 1,000円、一般 1,300円

● 定数 24人 参加人数 15人

● アンケート ほとんどの参加者から、楽しめた、新しい発見があった、興味を持ったとの評価があった。

(5) 世界の料理紹介

<担当(世界の料理グループ)>

【目的】外国人と食文化を通じて、相互の交流関係を深めることや日本語を活用する機会を創出する。

6月12日(月)	台湾ニラおやき作り	6名参加
9月29日(金)	ベトナム料理 バインセオ、チークックバック	6名参加
令和6年2月8日(木)	フィリピン料理 ソーパス、トロロン、ブコパンダン	7名参加

- 受講料 200円
- 場 所 学園西町地域センター調理室

IV 情報収集、調査研究及び広報

(1) 機関紙発行 <担当(機関紙グループ)>

【内容】協会で行った事業やボランティアの活動取材し、外国人インタビューや特集記事を企画して、記事を執筆する。編集会議で校正、レイアウトを決めて印刷業者に発注し、機関紙を発行する。A4判、カラー刷り。部数 1800部

4月号	・こだいら市民駅伝大会・世界の料理講座「ちらし寿司」 ・第8回小平市日本語発表会 ・通訳ボランティアインタビュー ・寄稿文 KIFA でのボランティア活動を通して ・こども日本語・学習支援教室「お楽しみ会」
9月号 (1991年の創刊から 100号となった)	・国際こどもクラブ ・多文化共生の句 ・日本語会話教室「つなひろこだいらクラス」 ・東村山市の多文化共生への取り組み
12月号	・小平市民まつりに初出店 ・多文化理解講座 in English ・多文化共生の句 ・世界の料理講座「ベトナム料理」 ・【寄稿文】保育茶話会 ・令和5年度第3回「KIFA連絡会」

(2) 情報紙(ミニレター)の発行

<担当(事務局)>

- ① 内 容 協会で行う行事などを中心に編集し、情報紙を作成・発行する。
- ② 回 数 年10回(8月、2月は前月号と統合)
- ③ 部 数 1,800部

V 国際交流・多文化共生施設等の管理運営

(1) 対象施設等 無

VI その他法人の目的事業

事業名	時期	連携先	連携内容
武蔵野美術大学 多文化共生論（教養科目）	5月18日 （木）	武蔵野美術大学 教授 三代純平先生	三代先生の開講する「多文化共生論」にて、地域における外国人支援団体として活動を紹介。
ナディアの活動報告・ウクライナ避難民との交流会	10月9日 （月・祝）	ウクライナ避難民運営食堂 Nadia 別當 紀人リーダー	市内で活動しているウクライナ避難民支援の団体と連携し、情報交換会を開催した。
学習院女子大学 ボランティア演習	10月16日	津田塾大学 講師 横田香穂里先生	横田先生の開講する「ボランティア演習」にて、地域における外国人支援団体として活動を紹介。
東京学芸大学	11月10日	学芸大学留学センター 許 夏玲先生	社会連携支援事業として地域の子ども支援教室について学生に照会する。
小学校外国語科 アシスタント紹介	10月5日 ～11月30日	小平第10小学校 外国語担当 三澤先生	3～6年生の英語の授業で児童と英語で交流する留学生を ISDAK から募集して10小に派遣した。のべ26名が参加した。
国際交流授業 スマイルプロジェクト （5年）	12月14日 （木）	小平市立上宿小学校 5年担任 佐和先生	ISDAK に募集して5名の参加 ①家庭科室で日本の伝統料理を一緒に作る ②体育館で日本の伝統的な遊びをする ③校舎内を回り学習体験
武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 情報デザインA	9月15日～ 令和5年1月 令和6年2月 24日（土）	武蔵野美術大学 教授 北崎先生 視覚伝達デザイン学科 3年	KIFA の事業に学生がグループ単位（3～4名）で訪問、参加、観察及びインタビューを実施する。学生が課題を見つけ、その解決策を策定し、KIFA の会員が解決策について評価する。 令和6年2月24日「これからの多文化共生を支えるデザイン アイデア」研究発表会&ワークショップを開催。

「これからの多文化共生を支えるデザイン アイデア」
武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 情報
デザインA



<KIFAの主体的な取り組み例>

協会の基本方針のもとに、ボランティア会員による自発的かつ主体的な活動が動きはじめています。

- 外国から来た親子のための小学校準備教室<担当（こども日本語・学習支援グループ）>
- 日本語会話教室（つなひろ こだいらクラス）<担当（日本語会話教室グループ）>
- JLPT 直前対策講座（春・秋開催） <担当（日本語会話教室グループ）>
- 保育ボランティアと保護者との交流会 <担当（保育ボランティアグループ）>
- 「にじいろひろば」の発行 <担当（こども日本語・学習支援グループ）>
- 保護者会 <担当（こども日本語・学習支援グループ）>
- やさしい日本語勉強会<担当（翻訳・通訳チーム）>「グループ立ち上げ」
- 多文化カフェ <担当（生活情報提供チーム）>
- 小平市民まつりに出店 <担当（生活情報提供チーム）>
- 忘年会 <担当（交流イベントグループ）>

ボランティアの思いは、各グループで話し合い、実現させています。

協会運営

開催日時・場所	社員総会
社員総会 令和4年 5 月 21 日(土) 学園西町地域センター1階 集会室にて	【議案】 ①令和3年度の事業報告について ②一般社団法人小平市国際交流協会定款について ③理事・監事の選任について ④令和4年度事業計画(案)について ⑤令和4年度収支予算書(案)について

開催日時・場所	理事会
第1回 理事会 5月8日(月) リモート開催	【議案】 ①令和4年度の事業報告について ②決算及び監査について ③令和5年度事業計画案について ④令和5年度予算案について
第2回理事会 9月11日(月) リモート開催	【議案】 ①KIFAのつどいについて ②令和5年度事業中間報告について
第3回理事会 12月18日(月) リモート開催	【議案】 ①第2回理事会から連絡会への意見について ②令和5年度事業中間報告について
第4回理事会 令和6年3月11日(月) リモート開催	【議案】 ①令和6年度事業計画案及び予算案について

開催日時・場所	連絡会
第1回 連絡会 4月22日(土) 第1・2集会室	【内容】①KIFA 連絡会について ②理事会の結果報告について ③社員総会について ④KIFA のつどいについて
第2回 連絡会 7月1日(土) 第1・2集会室	【内容】①KIFA のつどいについて ②小平市災害時外国人支援センター運営要領案について
第3回 連絡会 9月2日(土) 第1・2集会室	【内容】①KIFA のつどいについて ②令和5年度各ボランティアグループの事業報告・予定について ③小平市災害時外国人支援センター運営要領案について
第4回 連絡会 11月11日(土) 第1・2集会室	【内容】①令和5年9月第2回理事会の報告 ②第2回理事会から連絡会への意見について
第5回 連絡会 令和6年2月17日(土) 第1・2集会室	【内容】①令和5年12月第3回理事会の報告 ②第2回理事会から連絡会への意見について ③「令和6年度 KIFA のつどい」の実施について

開催日時・場所	ボランティア継続説明会
令和6年3月9日(土) リモート開催	【議案】①令和6年度の事業方針・予算について ②会員手続き方法について

理事会名簿

	区分	氏名		区分	氏名
1	理事長	瀧口 優	9	理事	長澤 雄二郎
2	副理事長	三代 純平	10	理事	長谷川 庸子
3	理事	安部 泰人	11	理事	藤田 哲子
4	理事	小野 朋江	12	理事	吉田 麻臣
5	理事	提箸 延幸	1	監事	坂上 多津夫
6	理事	佐々木 恵子	2	監事	吉田 徹
7	理事	出口 拓隆	1	アドバイザー	ピッチフォード 理絵
8	理事	豊田 二夫			